

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

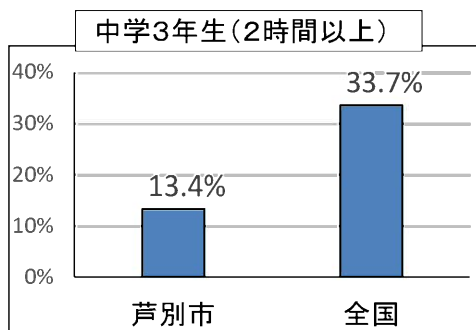
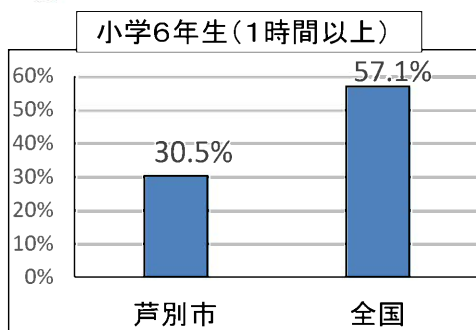
☎0124-27-7586

目次	1面	令和5年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙について
	2面	中学校統合に向けた児童生徒交流事業
	3面	コミュニティ・スクール 中学校統合により組織の見直しへ
	4面	市内小中学校のいじめ根絶に向けた取組

令和5年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙について

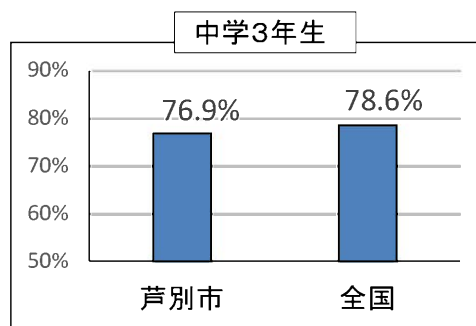
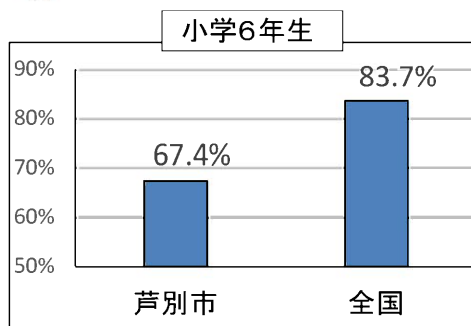
令和5年9月の教育だよりでは、学力調査の結果概要をお知らせしましたが、今回は質問紙調査の中から、家庭学習の時間と朝ごはんの摂取状況、授業でのタブレットの使用についてお知らせします。

①学校の授業時間以外（月曜日から金曜日）の1日当たりの勉強時間（塾・家庭教師を含む）



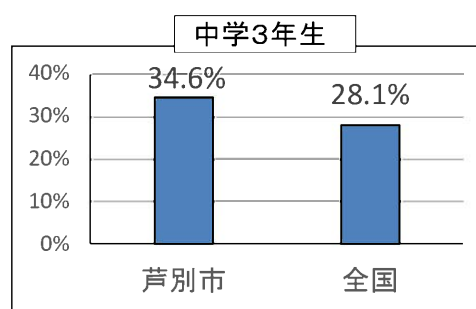
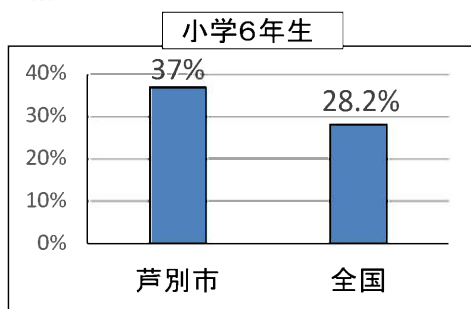
学校では適正な家庭学習の時間を学年×10分+10分としています。小学校6年生で70分、中学校3年生で100分が目安とされています。グラフを見ると、芦別市の子どもたちの勉強時間が全国と比べかなり少ないことが分かります。

②朝食を毎日食べている割合



朝食を毎日食べている割合は、4年前(平成31年度調査では、小学校73.7%、中学校85.3%)から減少傾向にあります。脳と体のエネルギー源はブドウ糖です。朝食のご飯に含まれているブドウ糖をしっかり摂ることで、体温が上がり朝から勉強に集中できます。

③授業でタブレットを毎日使用している割合



タブレットの使用状況ですが、全国と比べて毎日使用していると回答している児童生徒の割合は高いと言えます。学校では、タブレットを子どもたちがいつでも使えるように文房具と同様、身近に置いています。

望ましい学習習慣、生活習慣の確立に向けてご家庭でできること

芦別市では、家庭での勉強時間を増やすために、今年度からデジタル学習支援ツール「ナビマ」を導入し、タブレットを持ち帰ることにより家庭学習に活用できるようにしています。

規則正しい生活習慣では、朝ごはんを食べない子どもたちが増加傾向にあります。朝食は1日の元気の源です。今まで取り組んできた「早寝早起き、朝ごはん」運動をこれからも学校や家庭・地域と連携を進めていきます。より一層の規則正しい生活習慣の確立に向けてご協力をお願いします。

中学校統合に向けた児童生徒交流事業



中学校芸術鑑賞会、初めての開催



毎年度、芦別市教育振興会が主催し演劇や音楽等の鑑賞活動を通して、児童に豊かな情操を養うことを目的に、『芸術鑑賞会』を開催しています。これまで小学生を対象にしていたが、今年度は生徒同士の交流機会の確保と情操教育を推進する目的で、10月19日に中学校でも開催されました。小学校では演劇（劇団野ばら）、中学校では音楽（ザ・チェンバーラス）の鑑賞を楽しみました。

中学校では、啓成中学校1・2年生が芦別中学校体育館に集い、両校の生徒代表が指揮者体験するなど音楽を通して交流を深めました。令和6年度以降も引き続き開催する予定です。



【写真は中学校芸術鑑賞会の様子】



音楽発表会が市内4校合同で4年ぶりに開催



10月26日には、市民会館大ホールにおいて「児童生徒音楽発表会」が4年ぶりに開催されました。各学校による楽器演奏やダンス、合唱が披露され、会場の保護者やご家族の方々から自然と拍手が起き、温かい雰囲気になりました。最後は全員で「パブリカ」を歌い、会場が一体となりました。



小学校合同での木育授業を実施

芦別市林業振興協議会と市農林課林務係による木育授業が10月24日に行われ、芦別小学校と上芦別小学校の6年生が参加しました。2人1組になって自己紹介をした後、植樹体験を行い、交流を深めました。

また、10月25日、30日にも両小学校を対象とした木育授業が行われ、松ぼっくりの炭づくり体験や落ち葉をラミネートした作品作り体験など、ふるさとの自然に触れ合いました。



部活動交流会の実施

10月18日には芦別中学校体育館で、芦別中学校生徒会が中心となり部活動交流会を開催し、啓成中学校の生徒に部活動の紹介をしました。

啓成中学校の生徒は、どの部活に入部しようか考えながら、それぞれの活動を見学しました。



～その他統合事業に関するお知らせ～

【生徒会主催交流事業】

12月12日に予定されていた啓成中学校と芦別中学校の合同生徒会交流事業は、インフルエンザ感染症拡大に伴い延期することとなり、冬休み明けに実施される予定です。生徒会執行部が両校の生徒が楽しく交流できることを中心に企画したものとなっています。

【スクールバスの体験試乗】

中学校統合に伴い新しく上芦別東線と上芦別西線が運行することから、来年3月に生徒・保護者を対象とした体験試乗会を予定しています。なお、詳細については後日改めてお知らせします。

【啓成中学校閉校記念式典・感謝の集い（仮称）】

啓成中学校の閉校記念式典等が、令和6年3月20日（水）春分の日（水）に啓成中学校体育館で行われます。

コミュニティ・スクール 中学校統合により組織の見直しへ



本市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）は、11月8日に今年度第2回目の芦別中学校区・啓成中学校区合同学校運営協議会を開催し、令和6年4月の中学校統合を見据えた学校運営協議会の組織体制を協議するとともに、具体的な取組についてグループで話し合いを行いました。

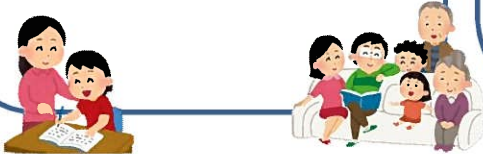
組織体制については、学校運営協議会委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、これまで啓成中学校区と芦別中学校区にそれぞれ学校運営協議会が設置されていたものを、中学校の統合に伴いひとつにすることとしました。また、学校運

営協議会は、今まで学校支援部会と学校関係者評価部会から構成されていましたが、来年度からは、芦別小学校部会、上芦別小学校部会、芦別中学校部会の3つの部会を置くこととしました。これまで学校運営協議会で担っていた「学校支援」と「学校関係者評価」については、引き続き3つの部会で双方の役割を担い、コミュニティ・スクールが目指す「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。

具体的な取組については、「次年度コミュニティ・スクールでこんなことに取り組んでみたい」をテーマに、各中学校区の委員同士で構成されたグループで協議を行いました。各グループでは、「家庭での取組」、「地域での取組」について、活発な意見交換が行われ、多くのアイデアが出されましたので、その一部をご紹介します。

【家庭での取組】

- ・全市親子クリーン作戦に参加する
- ・芦別市の特産品を深く知る
- ・ファミスタウィーク（家庭学習強調週間）の継続
- ・ノーゲーム・ノースマホ・家読書デー
- ・明るい挨拶
- ・望ましい生活習慣をしっかりと身に付ける
- ・土日祝日の有意義な活用方法



【地域での取組】

- ・地域・学校の連携による防災訓練
- ・地域の方が学校に行き、地域の歴史を語る
- ・学習ボランティア（寺子屋開催）
- ・長期休業中（夏・冬休み）に体験型のワークショップを計画し実行する
- ・多職種からの出前授業
- ・登下校の見守り等地域全体で子どもを育てていく
- ・挨拶運動＋交通安全現地指導
- ・大人と一緒にスポーツに取り組む
- ・クリーンウォーキング（市内各所等をめぐりながらゴミ拾い）
- ・給食試食会・メニュー考案



紹介！学習支援ボランティア「ミシン学習（上小）」



9月11日には、上芦別小学校に文化連盟の加盟団体である芦別手芸愛好会の皆さんが訪問し、5・6年生の家庭科の授業（ミシン学習）に学習支援ボランティアとして参加してくださいました。ミシンに不慣れで不安そうにしている子どもたちに寄り添い、針のつけ方、目盛りの調整、手の添え方など、分かりやすく声をかけ教えてくれました。手芸愛好会の皆さんのご協力に感謝するとともに「地域とともにある学校づくり」を目指し、学校では様々な活動で学習支援ボランティアを募集しています。今後とも地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

市内小中学校のいじめ根絶に向けた取組

市内の小中学校では北海道教育委員会の調査に基づき、年2回の「いじめの把握のためのアンケート調査」、年3回の「いじめ問題の対応状況の調査」、芦別市独自の「児童生徒のネット利用状況把握のためのアンケート調査」等を実施し、いじめの実態把握と早期解消、未然防止に向けた取組に生かしています。

また小学校では、児童会が企画した、笑顔であいさつができればシールを貼る「笑顔いっぱいニコニコ運動」や「朝の声かけ運動」、お互いを認め合う仲の良い学校を目指す全校レク「全校かくれんぼ」といった児童会行事等が行われています。中学校では、生徒会が主催する「STOPいじめ全校集会」において、各学級や学年縦割りグループで「いじめをなくすために自分たちができること」についての話し合いや「いじめ根絶を目指すスローガンづくり」の取組、人との向き合い方を考える全校集会等、生徒たちによる積極的な「いじめ根絶に向けた取組」が行われています。その中で、芦別中学校生徒会が作成したスローガンが、北海道いじめ問題対策連絡協議会主催の「絆づくりメッセージコンクール」空知管内中学校団体部門で2年連続最優秀賞を受賞しました。

2022～2023年度 芦別中学校「STOP いじめ」
やさしさと思いやりをもとう
 ～ 見て見ぬフリしない勇気を ～

～仲間づくり子ども会議を開催～

このほかにも11月13日には総合福祉センターにおいて、『いじめ』根絶のための取組の一環として、令和5年度芦別市仲間づくり「子ども会議」を開催しました。

会議では、市内の小中学校と芦別高校・星槎国際高校の児童生徒代表、計20名が参加し、3つのグループに分かれ、「自分も相手も大切にするためにできること」をテーマに話し合いが行われました。参加者は、自分ができること、友達とできること、みんなのできることにについて、それぞれの考えや思いを発表し、その内容を今後の児童会・生徒会の活動に生かすヒントとして、各学校に持ち帰りました。



新型コロナウイルスが5類に移行して、学校行事や児童会・生徒会活動が活発になり「いじめ根絶」に向けた取組も積極的に進められています。ご家庭でも「自分を大切にし、相手を尊重すること」、「いじめの根絶」について、子どもたちと一緒に話し合ってみてください。

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp